

第3学年音楽科学習指導案

日 時：平成17年10月5日（水）
場 所：矢巾中学校 第一音楽室
学 級：3年5組
男子18名 女子17名 計35名
授業者：菅原道弘

- 1 題材名 混声三部合唱の響き
～歌詞の流れに沿った曲想表現～
教材名 混声三部合唱 『心の瞳』
荒木とよひさ 作詞 三木たかし 作曲

2 題材設定の理由

(1) 生徒観

中学生の時期に顕著に見られる男声の変声については、多少差は見られるものの、おおよそ落ち着きを見せ、安定した声を出せるようになってきている。ハーモニーの調和の面では幾分甘さが見られるものの、指示されたことを忠実に実践し、簡単な強弱表現がこなせるようになってきている。3学年においては、強弱表現を含む曲想を感じ、表現させることに深い意味合いを持たせ、曲の構成や歌詞に込められた意味を理解させながら、歌唱表現を取り組んでいる。個人差もあり、定着できない面も見られるが、音楽の持つ表現の豊かさや深さを指導に配慮し、各声部の果たす役割をとらえさせながら、学級の持つ特徴的な感性を導き出していきたい。

一般的に見て、合唱活動を行う上での男女の人数のバランスは、男声の人数が多いように感じられるが、声量的に見ると理想に近いものと捉える。また男女協力し、お互いの意見を受け入れ、学級全体で取り組もうとする意欲が見受けられる。力量的には、ややアルトパートが劣るが、継続した意欲的な活動から、安定しつつある。今後において、指示された内容だけの取り組みでなく、生徒自らの積極的に取り組むことが出来るようになることで、学級としての気運や活動が高まり、更に学習意識の向上に繋がると思われる。

(2) 教材観

この主題は、学習指導要領〔第2学年及び第3学年の表現の内容〕(1)ア「歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫すること。」イ「曲種に応じた発声により、美しい言葉の表現を工夫して歌うこと。」ク「速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解して表現を工夫すること。」の指導を図ることをねらいとする。

アの「曲にふさわしい歌唱表現を工夫すること」は、生徒が理解することのできる歌唱表現や詩の解釈を、音楽の流れにのせながら理解させることであり、それが出来るように意欲を失わせることなく、継続して支援することが必要と思われる。

また、イ「曲種に応じた発声により、美しい言葉の表現を工夫して歌うこと。」の中の、『美しい言葉の表現を工夫して歌うこと』において、楽曲の持つ歌詞に込められた深い意味も感じ取らせながら歌わせることで、より感情豊かな表現となるものと思われる。

ク「速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解して表現を工夫すること。」では、特に指導に留意させたい。速度や強弱の変化により、曲想を感じ取らせることが、歌詞に込められた内容を理解させること、そして、表現させることが生徒の曲想理解の指導上大切なことであると思われる。

本主題の学習により、旋律を含む音と音とのかかわりあい、歌詞と強弱との意味合いなどがどのように曲の構成の中で位置づけられているかを、より総合的に理解できると思われる。

(3) 指導観

本校の歌唱指導は、合唱表現をその中核に位置づけている。小学校中学年での音の重なり、高学年における同声合唱、そして、発達段階に応じた中学校の混声合唱へつながる。1年生では、『音楽活動の楽しさを体験すること』を目標にした指導が中心である。歌唱指導で言えば、それぞれの声の特徴を訓練し、身につけさせるだけではなく、表現したい内容をイメージさせること、音楽に内在する諸要素へ感受性を持たせることが必要とされる。この内容を継続的に指導を行い、音楽の持つ豊かさや奥深さを理解させ、支援しながら、自信をもって表現出来るよう、取り組ませていきたいと考える。

3 題材目標

- (1) 歌詞に即した強弱表現を理解し、表現することができる。
(2) 歌詞の内容を音楽表現に生かして豊かな曲想で歌うことができる。

4 指導計画

第1時間目	主旋律、他のパートおよび、曲の構成の理解
-------	----------------------

第2時間目	(パート練習、音と音とのかかわりあい)
第3時間目 第4時間目 第5時間目	歌詞を生かした曲想表現の工夫 (強弱表現、フレーズの流れ方と繋がり、歌詞を生かした曲想表現)

5 評価規準

時	学習内容	評価規準			
		音楽的な関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
1 2	主旋律および他のパートおよび曲の構成の理解	言葉と旋律の関わりに関心を持ち、意欲的に歌唱表現している。	歌詞の内容や曲想の味わい、曲種に応じた発声や言葉の特性、声部の役割と全体の響きの調和を感じ取っている	旋律のまとまりを意識して、フレーズに合った強弱表現を理解し、歌うことができる。	
3 4 5 本時	歌詞を生かした曲想表現の工夫	歌詞に込められた意味を理解し、歌唱表現に生かしている。	歌詞の意味、言葉と旋律のかかわりに気をつけて歌唱表現できる。	歌詞の内容を理解し、言葉表現に生かすことができる。	範唱や自分たちの表現を比較して、聴き分けることができる。

6 本時について

(1) 主 題 歌詞に込められた意味を理解と表現の工夫。

(2) 目 標

- ・歌詞の内容を理解し、強弱表現することができる。
- ・言葉と旋律のかかわりに気をつけて歌唱表現できる。

(3) 指導の構想

合唱表現は、個の集団である。曲想表現において、生徒自身『なぜ、ここはこのように歌うのか?』個々に疑問を持つものである。その個の疑問を受け入れ、集団の中に生かすことが出来れば、より深い曲想表現や意欲の喚起に繋がるものと思われる。音楽の持つ楽しさ・素晴らしさを豊かに表現するために必要な基礎的な能力を理解させながら、意欲の向上を図りたい。また、学習カードを活用し、生徒の意欲や個を生かす場面を設定し、曲想表現に役立てたいと考える。これに生徒の目的意識を更に持たせ、音楽的な構成要素や表現要素を会得させ、表現力の向上を図っていきたい。

この教材の意図する詩の内容を、明確に発声・発音し、それに込められた詩の意味から歌う上での強弱を考えさせ、表現させたい。また曲の変化を感じ取らせながら、部分的(フレーズ)な練習を繰り返し、曲の流れ全体に留意させながら、フレーズのつながりを大切に指導に配慮することが必要と思われる。

(4) 具体的評価規準

	A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する生徒への手立て
関心・意欲 態度	強弱表現について意欲的に考えようとする。	強弱表現について考えようとする。	曲の流れを感じ取らせ、イメージを持たせる。
音楽的感受 感受・表現	歌詞に込められた意味を理解し表現できる	歌詞に込められた意味を理解できる。	強弱記号や簡単な歌詞から理解させ、仲間と共に表現できるよう、支援する
表現の技能	詩の内容を理解して強弱表現できる。	曲の流れを感じ、歌うことができる。	

(3) 本時の展開

段 階	学 習 課 程	生 徒 の 活 動	教 師 の 指 導・支 援	評 価(○)・備 考
導 入 10 分	1 前時までの 確認	歌う上での留意点を理解する。	フレーズや曲の流れにふれながら、理解させる。	○教師の話に注目して聴いているか
	2 音の確認	「心の瞳」を合唱する。 合唱する。	堂々と歌わせる 音の不明瞭な箇所を支援しながら、歌わせる。	○意欲的に歌唱に参加しているか
	3 学習課題の 設定	学習課題を理解する。		
歌詞に込められた意味を理解し、表現しよう！				
展 開 30 分	4 曲の構成の 確認	リズム・強弱・速さについて知る。	答えやすい形で、生徒の答えを導く。	
	5 課題の追求	歌詞の意味と強弱について理解する。 ・大切な歌詞とその表現 ・歌い方の工夫 歌唱表現上の曲想理解 ・母音と子音の表現理解 ・曲のリズムとの関わり 生徒による歌詞理解 ・学習カードの活用	言葉の伝え方に気づかせる。 具体的な例を提示する。 範唱から理解させる。 事前調査結果を提示する。 歌詞に込められた願いを理解する	○表現の違いに気づくことが出来たか ○自分たちの表現の曖昧さに気づくことができたか
	6 課題追求の まとめの練習	・フレーズの繋がりを理解し課題を意識しながら、練習する。	生徒の意欲を引き出せるよう、範唱を交えながら、指揮で歌唱表現を導く。	○課題を意識しながら、表現しているか
ま と め 10 分	7 本時のまとめ	学習シートから本時の内容を振り返る。	本時での生徒のよい評価を取り上げ、意欲の喚起を行う。	教師の評価に注目させる。 学習シートの配布
	8 次時の予告	本時の学習内容を次時にいかにつなげるか、理解する。	合唱の持つ素晴らしさを伝え、練習の大切さに気づかせる。	

★本時の学習課題

1、曲名 「心の瞳」

2、自己評価について

授業に意欲的に取り組めたか？	できた	半分程度できた	ややできた	理解できない
自分のパートの音を理解できたか？	できた	半分程度できた	ややできた	理解できない
自分から意欲的に声を出すことができたか？	できた	半分程度できた	ややできた	理解できない
曲の構成をとらえられたか？	できた	半分程度できた	ややできた	理解できない
歌詞と強弱表現の関わりが理解し、表現できたか？	できた	半分程度できた	ややできた	理解できない
詞に込められた意味を理解できたか？	できた	半分程度できた	ややできた	理解できない
曲に合った速度を理解して歌うことができたか？	できた	半分程度できた	ややできた	理解できない
仲間と共に意欲的に取り組めたか？	できた	半分程度できた	ややできた	理解できない

3、この曲の中で意欲的に取り組めたのは、どの場面ですか？（番号に○）

- 自分から進んで声を出し、歌うこと。
- 曲の構成を理解すること
- 歌詞と強弱との関わりについて（歌唱表現）
- 曲に合った速度について
- 曲全体の流れに乗って、歌唱表現すること。

4、合唱取り組みで、積極的に取り組んでいた生徒は誰ですか？（3人くらい）

さん	どんな場面？
さん	どんな場面？
さん	どんな場面？

5、合唱表現上、気をつけなければならないことをあげなさい。

6、あなたにとって「心の瞳」とは、何ですか？

7、今後の学習の決意を書きましょう。（授業での要望でも可）

年 組 番氏名